

2018/8/23-28

日中不再戦

長谷川テル顕彰の旅 報告集



長谷川テル顕彰の旅 訪中団

今回の「顕彰の旅」実施の経過と意義

私たちは、日中戦争のさなかに、現地ラジオ放送局から日本の将兵に反戦を訴え続けたエスペランティスト長谷川テル女史（1912—1947）（以下、「テル」）の事績を研究し、テルの思想を学び今に生かし語り継いで行くため、今年（2018年）6月に「治安維持法犠牲者・長谷川テルエスペランティスト顕彰奈良県実行委員会」が発足し、その呼びかけに呼応して、大阪でも「大阪・長谷川テル顕彰の会」が7月に結成されました。

顕彰運動の目的が、長谷川テルの自立した女性としての歩みと、「国境・民族・言葉の壁」を超えて心身を投げ打って反戦・平和の声を日中戦争の現場から全世界に轟かせた偉業を学び讃えることにあることはいうまでもありません。それとともにテル女史が敗戦後ひと月も経たない時に、日本の軍部政権による第二次世界大戦の歪んだ終え方によって、日本が大きな「欠落」をかかえたまま戦後を歩まざるをえない、と指摘した意味（註）を、改めてしっかりと受けとめることが大切です。

私たち一人一人が、主体的に平和憲法を守りぬぎ、歴史修正主義を許さない立場を強め、勇気をもって反戦平和のための国民運動を推進する担い手となることこそ長谷川テル女史の願いにこたえることなのではないでしょうか。

今回実施した「顕彰の旅」は、奈良の会の呼びかけに大阪の会も応じ、顕彰事業の一つとして実施されたものです。

（註）「申し上げたいことは、日本ファシストが日中戦争の失敗を全く認めていないということです。ご覧ください。8月15日の天皇の詔勅、鈴木内閣の文書は、いずれもこの4年間の〈大東亜戦争〉について述べているに過ぎません。彼らは8年来、中国人民に加えた大きな血債については黙殺しているのです」長谷川テル「岐路に立つ日本」（『新華日報』1945年9月11日）。

報告集発行にあたって

「長谷川テル顕彰の旅」 団長 宮城 恭子

2018年猛暑のさなか敢行した私たちの旅は、事務局の周到な準備の努力が開始前の段階からありました。そのうえ、参加者の皆様が旅をより豊かなものにするための努力を惜しみませんでした。

初めて知り合ったメンバーも20年来の友人の如く自然に打ちとけ合い、友情を深めました。日中戦争時の日本政府と日本軍の蛮行についても学習を重ねました。

近頃、日本の政財官界では虚偽の情報を操り、正面切って問われれば「記憶にない、記録にない」など国民を愚弄する策謀を見かけます。嘘がうそを呼ぶ、国民にとって貴重な情報を隠蔽する許し難い体質です。国と国民の恐ろしいまでの乖離。

かつて長谷川テルさんが行動したように、生身の人間が体験した見たこと、聞いたこと、感じたことを全身全霊でもって行動記録に残し、告発することの重要性が再確認されます。

テルさんがいのちがけでマイクの前に立ち日本の兵士に語りかけたこと、あるいはエスペラントを自由に駆使し、ペンとタイプライターで世界中に日本政府と日本軍の侵略実態を告発し続けたこと。劉仁さんと子どもたちとの生活を極貧の中でも守り抜いたこと。そのテルさんの生きざまを新中国政府が大きく評価したこと。土曜日にもかかわらず、ジャムス市政府と共催で墓前祭を開催できたこと、市庁舎への表敬訪問と懇談の時間を持てたこと。ハルビン郊外平房における731部隊跡地での全身虚脱感。あるいはゆく夏を惜しむハルビン市民の夕暮れの散策やミニコンサート。メンバー同士の楽しい交流など伝えたいことは山ほど有る！

この旅で25名の参加者は現代中国の人々と触れ合い語り合う中で、感動し、共感し、胸を詰まらせ震わせたことが何度もあったことでしょう。その個々人の体験を文集に「記録し、記憶する」ことで私たちの旅の足跡を残し、歴史を未来に向けて共有することにつなげたいと思います。

また、終始私たちの旅を安全で快適なものにするよう配慮していただいた尾川さん、曹陽さん、介添人の長谷川暁子さんに深謝します。

この小さな報告集は、テルさんの墓前で誓い合った東北アジアに平和な未来を築く、そのための努力を惜しまない、様々な分野で考え行動し、つなぎ合う、そして長谷川テルさん顕彰事業を引き継ぎ広げ、当面は来年 Verda Majo の頃、奈良般若寺境内に長谷川テル顕彰碑を建てること、長谷川テル全集作成作業を進めること、さらに第2回目の旅を計画するそのよすがとしたいものです。

1滴水は長い旅を経て大河に至り、小さな蟻も大群で協力し合えば象を倒すことも可能です。私たちは力を合わせれば鬼に金棒、何も恐れぬ「平和の戦士」と成ることでしょう

旅行日程 2018年8月23日～28日

8月23日（木）

- 11:00 関西国際空港第1ターミナル集合・結団式
- 13:05 中国南方航空CZ632便 関西国際空港出発
- 15:05 ハルピン空港着
旧桃山小学校 周辺見学
- 16:30 ホリデイインハルピンホテル チェックイン（泊）
- 18:30 夕食 参加者自己紹介・交流

8月24日（金）

- 8:20 バスにてジャムスに向けへ移動
- 11:30 方正県 日本人公墓、中国養父母公墓
麻山地区日本人公墓、藤原長作 記念碑を見学
- 17:30 ジャムス着 リバースカイホテルチェックイン（泊）

8月25日（土）

- 9:00 ジャムス烈士陵园 着
長谷川テル 墓前祭 献花 「希望の鳩」献歌 ・演奏
ジャムス市政府訪問 懇談
- 14:00 ジャムス市博物館 見学

8月26日（日）

- 9:23 ジャムス駅発 寝台車でハルピンへ（7時間）
- 16:28 ハルピン駅 着
- 18:00 夕食後、ホリデイインハルピンホテル チェックイン（泊）

8月27日（月）

- 8:30 平房へ出発
- 9:30 侵華日軍第731部隊罪証陳列館訪問（特別開館）、館内見学
ハルピンへ、車窓より旧満鉄病院・ヤマトホテル、旧領事館
東方烈士館、テルの遺児が通った小学校、保育所
- 14:00 安重根記念館（特別開館）
- 18:00 夕食 訪中団交流会

8月28日（火）

- 5:00 ホテル発 6:00 ハルピン空港着
- 8:10 中国南方航空CZ631便 ハルピン空港出発
- 12:05 関西国際空港に到着・解散

佳木斯市「長谷川テル・劉仁」墓苑での共同式典、市政府表敬訪問

宮城恭子団長 長谷川テル（緑川英子）墓前追悼の辞（8月25日）

長谷川テルさん 私たちは奈良・大阪を中心に「日中不再戦、長谷川テル顕彰墓参団」を結成し、とうとう今日この地ジャムスに25名で到着し、感激で胸がいっぱいです。私は団長の宮城恭子と申します。

あなたのことを親しく「長谷川テルさん」とお呼びする無礼をお許してください。私の母親は旧姓を長谷川清子といい、1932年に奈良女子高等師範学校へ入学しています。母は「入学当時テルさんから「同じ長谷川だね」と親しく声をかけてもらった」と喜びを語っていました。私はテルさんに叔母さんのような親近感をもって育ってきました。

テルさんは、幼少時より才気煥発、自立心旺盛。女子教育の双璧東京女子大学と奈良女子高等師範学校に合格し、奈良女高師文科への進学をご自分で決め入学されました。才媛ぶりを発揮してクラスをリードされました。満州事変とともに次第に学校の中にも軍国主義の風潮が強まり、学園生活が閉塞感・息苦しさで覆われたとき、自由をこよなく愛したテルさんは社会に目を向け、エスペラントの学習を始めました。国家・民族・地域・言語にとらわれることなく、誰とでも自由に意思疎通できる、人類愛に満ちた国際共通語・エスペラントの世界に強く魅せられ、そこに平和な未来社会をみつけられたのですね。

しかし、ただそれだけのことで、テルさんは4年生夏休み明けの9月、治安維持法違反で特高警察に捕まり、大学を退学させられました。3年後輩の母にはその時の光景が忘れられず「治安維持法で捕まった人たちは悪いことをした訳ではない」と理解したようでした。後に治安維持法違反でとらえられた京都の父と結婚したのもテルさんへの尊敬と信頼があったからこそと推察しています。



中国での生活は、私たちには想像もできぬ波乱万丈、苦悩に満ちた過酷なものであったことは、長谷川暁子さんの著書にも書かれています。ご苦労をお察しするばかりです。

反戦放送のマイクの前に立ち、日本の兵士に「ここにあなた方の敵はいません」と6年間300回にわたり呼びかけたこと、日本帝国主義の蛮行を具体的にリアルタイムで世界中にエスペラントで発信したこと、エスペランティスト文学者として才能を発揮し数々の作品を生み出したこと、劉仁さんと子どもたちとの生活を守り抜いたことなど、苦難に満ちた生活ながらまさに長谷川テルの命が輝いた年月を過ごされました。

政治的感性も鋭く、日本帝国主義が敗北した1ヶ月後には「日本ファシストは日中戦争の敗北を全く認めていない。この8年来中国人民に加えた大きな血償については黙殺している」とアメリカとの関係だけで「終戦」したことを弾劾・告発されました。

2018年6月、史上初めての米朝首脳会談が行われました。朝鮮半島から核兵器をなくし、恒久的で安定的な平和体制構築に向け、力を合わせることで合意しました。私たちはこの流れを歓迎し前に進めるために大いに努力したいと考えています。日本はもう二度と戦争はしない

と誓った憲法を持つ国でありながら、安倍首相は「対話は無意味、圧力が重要」と軍備拡張路線推進、日米安保体制強化、沖縄辺野古へ新基地建設、憲法 9 条改悪、戦争する国づくりを進めています。平和を願う国民との乖離は増すばかりです。

私たちはテルさんの前で改めて誓います。

日中不再戦・日中平和条約締結 40 周年にあたり、戦争ではなく非核平和実現のための行動を強めます。飢えや命の危険にさらされることのない、個人が大切にされ、自由が尊重される社会の実現に向かって懸命に努力します。安倍 9 条改憲を阻止し、平和憲法を守り抜きます。辺野古新基地建設に反対し、沖縄に平和を取り戻します。ほっぺの赤いリンゴが色あせぬよう、子どもたちの命を誰ひとり奪わせない運動を展開します。

テルさん、あなたは劉星さん暁子さんを生み、34 歳の若さで命を閉じました。娘の暁子さんは長谷川テルを 21 世紀に再生させました。長谷川テル顕彰運動は、今後東京・山梨から全国に広がることでしょう。私たちはテルさんの日本語、中国語、エスペラントのすべての作品を収集し、作品全集（日本語版）の発行を計画しています。また、来年奈良の古刹般若寺境内にテルさんの記念碑を建てることを決め、般若寺ご住職の快諾も得ています。いま記念碑にテルさんにふさわしい文言をどう刻むか知恵を絞っているところです。

私たちの運動は、テルさんの足跡をたどり、その反戦平和の志と日本帝国主義との壮絶な戦いを学びました。それは現在の複雑な国際情勢の中で、私たちに自らの立ち位置を問いかけ、反戦平和の運動に勇猛果敢に参加を呼びかける、終わりのない、しかし希望に満ちた旅へのよびかけとなっていることを、長谷川テルさんあなたの墓前に報告いたします。

最後になりましたが、長谷川テルさん・劉仁さんの墓碑を建立し、大切に守ってくださっているジャムス市および市民のみなさまに深い感謝を表し、追悼のご挨拶とさせていただきます。

2018年8月25日「日中不再戦、長谷川テル顕彰墓参の旅」团长 宮城恭子

*この追悼の辞の中国語訳がジャムス市政府代表に手渡された。

国際主義戦士緑川英子（長谷川テル）墓園記念式典にあたってのご挨拶 黒龍江省佳木斯市政府外事弁公室副主任 柳琳

女性団員のみなさま、各先生方

国際主義戦士緑川英子同志とその夫劉仁同志を偲び、お二人が中国革命と中日両国人民の友誼のために尽くされた貢献を追慕するために、本日はるばる佳木斯市烈士陵园にお越しになった皆様方に、私どもは心からの尊敬の念を持って感謝と歓迎のご挨拶を申し上げます。

緑川英子、それは彼女がエスペラントで表した名前であり、「緑の5月」という意味です。すなわち「緑」は世界の平和を象徴し、全世界の各国人民が睦み合うという美しい理想が託されております。「5月」は共産主義者にとっては団結して闘うという意味をもつものです。彼女は自分自身が一人の革命家として、エスペラントを武器に革命に献身する覚悟をこの名に託したのです。抗日戦争中、緑川英子はペンを武器におびたしい文章と著作を発表し、中国人民がその国土と家族とを守りぬいた英雄的振舞を、情熱をこめてうたい上げました。国際主義戦士緑川英子と劉仁とは若くしてこの世を去りましたが、その英名は未来永劫歴史に留められることであらう。



私たちは緑川英子と劉仁のお二人を記念し、本日を学びの場といたしましょう。

私たちは、お二人が勇気をもって真理を堅持し、愛と憎しみとを区別し、進歩の事業は必ず勝つという信念に溢れていたことに、学ぼうではありませんか。

私たちは、お二人が平和を熱愛し、侵略に反対し、国際主義を堅持するとともにそれを大いにアピールしたことに、学ぼうではありませんか。

私たちは、お二人が刻苦研鑽を重ね、自己を犠牲にしてまでも世界の文化事業に尽くし、中日友好交流を促進した献身の精神に、学ぼうではありませんか。

国際主義戦士緑川英子同志と劉仁同志は私たちの心に永遠に生き続けるにちがいありません。

ケイ・シュガーさんによる墓前献歌

台風の影響で大雨続きの東北最果ての地。式典最後に「希望の鳩・ヴェルダマーヨー長谷川テルの歌」を作詞・作曲したケイ・シュガーさんが演奏、日本語と中国語（閩立訳）で美しい調べを墓苑に響かせ、直接テルさんに捧げました（楽譜は資料の44ページ）。奇しくも同日、日本の奈良では蟻の会合唱団コンサートが開催されており、ケイ・シュガーさんの作品を水野直美さんが編曲した合唱曲「希望の鳩」が演奏され、海を隔てたテルさんに届けられました。



佳木斯市政府表敬訪問（8月25日）

佳木斯市政府表敬訪問と同市外事弁公室于俊飛主任との懇談

「長谷川テル顕彰の会」の一行は「式典」の後、佳木斯市役所市庁舎を表敬訪問、同市外事弁公室主任于俊飛氏らと懇談した。市政府出席者は佳木斯市政府外事弁公室于俊飛主任、外事弁公室柳琳副主任、外事弁公室常偉華、周立波、通訳敬剣（黒龍江省外事弁公室）各氏。



双方出席者の紹介のあと、最初に于俊飛氏が佳木斯市の概況を紹介された。宮城団長は「テル顕彰の会」の墓参の趣旨、テル顕彰活動の概要を述べつつ、テルと劉仁の墓園が整備されていることに感謝の意を表した。

田辺実・団事務局長は、日本軍が中国を侵略し多大な被害をもたらしたことを詫び、奈良および大阪の顕彰の会の発足とテルの顕彰活動の概要と訪問目的（文末資料）を説明した。

続いて、田辺事務局長は佳木斯市政府に対する具体的な要請項目を説明した。

- ①「長谷川テル顕彰」事業の進捗状況の節目、例えば奈良の古刹般若寺境内への「長谷川テル記念碑」設置などについて、市政府市長や関係部局にお伝えいただくための連絡窓口を設置していただきたい。
- ②佳木斯市の「日軍侵華罪証陳列館」における展示内容が確定した段階で「長谷川テル・劉仁夫妻」に関連する展示内容の目録をお教えいただきたい。
- ③今回の訪問では日程上実現できなかった佳木斯大学日本語科学生および市内合唱団などとの

文化交流については、ご尽力いただいたことに感謝するとともに、今後の交流の実現に向けてご配慮をお願いしたい。また「希望の鳩・ヴェルダマーヨ、長谷川テル」の原曲・合唱曲の楽譜をお届けして、今後の相互交流にご助力いただきたい。

④日本における長谷川テル顕彰事業に関して、ご希望、ご要望をお聞かせいただきたい。

この要請の趣旨は全て受けとめられ、具体的には「上部に報告し相談する」としつつ、佳木斯市政府外事弁公室が「長谷川テル顕彰の会」との連絡の窓口となることを確認、了解された。

最後に、「テル顕彰の会」が用意した土産を、于俊飛外事弁公室主任に手渡し、政府側からも宮城団長と団幹部に記念品が手渡され、和やかな雰囲気の中に懇談は終了、市庁舎で全員の記念撮影を行った。

資料：「長谷川テル墓参の旅」に関する佳木斯市政府に対する要望書（2018年6月15日）

長谷川テル顕彰事業の推進の意義と内容

侵略戦争に反対し平和と国民主権を主張した人々は、売国奴・国賊・非国民と罵られ治安維持法によって弾圧されました。長谷川テルは、治安維持法によって弾圧された数十万人の一人です。奈良女子高等師範学校を退学させられた後、中国から留学していた劉仁とエスペラントを通じて出会い結婚しました。長谷川テルは、反日抗戦のために一足先に帰国した劉仁の祖国・中国に自らも渡り、共に侵略と戦うことを決意し、1937年4月中国・上海に渡航し、戦火の中国で生涯その意思を貫かれました。

長谷川テル顕彰奈良県実行委員会は、今後次の取り組みをすすめる方針です。

- i) 長谷川テルに関する資料の収集に努力し、調査・研究を進める。「日本語版・長谷川テル全集」の刊行。
- ii) 般若寺境内に長谷川テルの記念碑を設置する。碑文は日本語、中国語、エスペラントで併記する。記念碑完成時には、貴国駐日大使館にも列席をお願いして除幕式を行う。
- iii) 今年8月23日から5泊6日でジャムスへの墓参の旅を実施する。
- iv) 長谷川テルの事績についての勉強会、映画「望郷の星」の上映会、合唱曲【ヴェルダ・マーヨ】の演奏会などを順次実施する。

以上を骨子に長谷川テルの事績の調査・研究・顕彰活動を日本全国で推進して参ります。

「長谷川テル墓参の旅」の目的と計画

私たちは、8月23日より5泊6日の「長谷川テル墓参の旅」を計画しています。その目的は、長谷川テル（＝緑川英子）の事績を讃え、追悼することにあります。そして、長谷川テルの事績を調査・研究・顕彰し広く語り継ぐとともに、長谷川テル顕彰事業を奈良・大阪・全国に発展させ、合わせて中国で進められている顕彰事業団体との交流をはかる契機としたいと考えています。この機会に、私たちは長谷川テルが夫劉仁とともに佳木斯市烈士陵园において手厚く処遇して頂いていることに、心からの敬意を捧げるものであります。

私たちは、佳木斯市には、8月24日（金）の午後到着し、25日（土）の終日、佳木斯市に滞在し、長谷川テル・劉仁の墓苑を訪問、献花、墓前で【希望の鳩 ヴェルダ・マーヨ 長谷川テルの歌】を斉唱することを希望しています。式典後には貴政府を表敬訪問し、今後の交流を中心に懇談会がもてるよう願っております。

（掲載写真は全て団の写真担当澤田和也氏による）

お世話になった方々

歓迎・歓待、お世話して下さったみなさん（敬称略・日時順）

方正県 外事弁公室 張紅立

佳木斯市人民政府 外事弁公室

主任 于俊飛

副主任 柳 琳

科 長 周立波

副科長 常偉華

黒龍江省 外事弁公室

敬 劍

731部隊罪証陳列館主任 江 萍

安重根記念館関係者 夢 脈

旅行社関係

ガイド 曹 陽（全行程）

添乗員 尾川理江（JU 観光）

佳木斯ガイド 劉立強

哈爾濱ガイド 苑徳風

ドライバー 楊敬欽

見学・訪問先

旧桃山小学校（現 哈爾濱（ハルピン）市兆麟小学校）

敗戦混乱期、難民となった多くの日本人が避難した場所です。



方正県 日本人公墓

1945年8月9日ソ連参戦にて、避難民となった満蒙開拓団の多くが関東軍の食料庫があると方正に1万5千人余がきました、実際は何もなくやがて氷点下30度平均の冬を5千人余が越すことが出来ず亡くなりました、大躍進政策の中・遺骨が沢山出てきました、事情を知っている残留婦人がひとつひとつ集めていました、それを観た地元の方が最終的には中央政府に申請をし、時の周恩来総理のはからいで1963年日本人公墓が建立され、後に麻山事件、中国養父母の墓、稲作に尽力をつくした藤原長作さんの記念碑も建てられました。



佳木斯烈士陵园

烈士陵园の中の広い敷地に長谷川テル・劉仁のお墓があり一際目立っています、地元職員の手により日常的に清掃され守られています。

佳木斯博物館

長谷川テルコーナーがあり、遺児暁子さん寄贈の遺品も飾られています。



左から 旧満鉄病院、旧ヤマトホテル 旧領事館（ハルピン）



東方烈士館（ハルピン）

テルコーナーあり、遺児暁子さんがお母さんの着物を寄贈しています。東方烈士館の近所には、暁子さんが、両親のいない中、政府の保護のもと通った小学校および寄宿舍、在籍していた保育所があります。



旧満鉄社宅（ハルピン）

ソ連側がつくり満鉄社宅として使用していた建物（100年経過）が現在もありますが、危険なため立入禁止。公園として保存予定。



侵華日軍731部隊罪証陳列館（平房）

森村誠一さんの著書“悪魔の飽食”で日本人の多くが知る所となった、ハルピン市郊外平房にある。731部隊、正式名称は関東軍防疫給水部本部（通称満州731部隊）

捕虜・スパイをマルタと呼び、生体実験を行ない、細菌学・生物学（ガス・凍傷・銃撃）とあらゆる人体実験を行ない、3000人余が犠牲になりました。

ソ連参戦にて破壊をしましたが、現在も破壊されたボイラー・発電室、破壊出来なかった壁面と2本の煙突が残っています。



安重根記念館

1909年10月26日、ハルピン駅ホームにて伊藤博文元首相（初代韓国統監）を射殺した、朝鮮独立運動家“安重根”の記念館です、日本ではテロリストとされていますが、韓国では祖国の独立に命をかけた民族の英雄として、ソウルには大規模な記念館があります。

韓国の外交権・内政権を奪い、併合の地ならしを進めた伊藤は、その象徴として韓国の人の恨みをかっていた。

写真で見る 日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅



墓前での集合写真



革命烈士記念碑



長谷川テル・劉仁の墓



黙禱



墓前に献花する宮城恭子さん



挨拶を述べる柳琳さん

追悼のことはを述べる宮城恭子さん



希望の鳩 ヴェルダ・マーヨ 長谷川テルの歌を日本語と中国語で歌うケイ・シュガーさん



佳木斯市政府庁舎にて



于俊飛氏



宮城恭子さん



田辺実氏



佳木斯記念館の長谷川テルの展示



侵華日軍第七三一部隊罪証陳列館



安重根記念館



日中不再戦

長谷川テル顕彰の旅

2018年8月23日~28日

発行 2018年11月

長谷川テル顕彰の旅 報告集編集委員会

奈良・長谷川テル顕彰の会

事務局 630-8442 奈良市北永井町277-3 田辺実 方
Tel 0742-61-7194

大阪・長谷川テル顕彰の会

事務局 日本中国友好協会大阪府連合会

530-0013 大阪市北区芝田2-3-19 東洋ビル本館207号室

Tel 06-6372-8131 Fax 06-6372-8132

事務局 治安維持法犠牲者国家賠償同盟大阪府本部

543-0045 大阪市天王寺区寺田町2-6-2 東大阪ビル3F

Tel & Fax 06-6772-7555